

それって本当？ メディアリテラシーはじめよう

フェイクニュースとクリティカルシンキング

著 ジョイス・グラント 絵 キャスリーン・マルコット 訳 片柳伊佐



翻訳者まえがき

デジタル技術の発展や情報を伝える手段の拡大により、わたしたち人間が受け取る情報の量は爆発的に増えています。また、かつては限られた人しか情報を発信できませんでしたが、インターネットやスマートフォンの登場により、だれでも情報を発信することができるようになりました。情報を受け取ること、発信すること、共有することが簡単だからこそ、送信ボタンや「いいね」を押す前に、いったん立ち止まる慎重さが求められています。

この本では、おもにインターネットで情報を受け取り、発信する際にどんなことに気をつける必要があるのか、例を用いながら説明します。メディアリテラシーやクリティカルシンキングという耳なれない言葉やその意味について、この本を通していっしょに考えていきましょう。

日本語版翻訳者 片柳伊佐

目次

	はじめに： フェイクニュース、み～つけた!	4
	第1章： ホンモノ？ニセモノ？	8
	第2章： ニュースができるまで	14
	第3章： まちがえたときには	22
	第4章： フェイクとホンモノの間	28
	第5章： フェイクニュース捜査官になる	36
	第6章： うそやニセモノを見抜く	42
	おわりに： クリティカルシンキングの力をつけよう	48
	著者あとがき	52
	用語	54



今だけ

どうしてニセモノの記事を書くの？

起こってもないことを記事にするわけはいろいろある。ウェブサイトを見る人数やSNSのフォロワー数を増やしたい人もいるし、自分が好きなものに関してうそを広めたい人もいる。それから、**メディア**（媒体）全体の信用を落とすことが目的の人もいる。大事な情報のためには信頼できる情報源が欠かせないのに、これは深刻な問題だ。こうした理由については後でもっとくわしく取り上げていく。

残念なことに、フェイクニュースは本物のニュースよりも速く広まる。実際に、X（旧ツイッター）でそのニュースがシェアされる可能性は本当のニュースの1.7倍ということが、アメリカのマサチューセッツ工科大学（MIT）の2018年の研究でわかった。また、フェイクニュースは怒りやショック、うれしい気持ちなどの強い感情を刺激する。「いいね」されやすいようにね。



本物のニュースを知ろう

フェイクニュースを見ぬくことはできる。これはそのための本なんだ。何に気をつけて、気になったことをどう調べればいいのか、動画、記事、SNSのどれにも通用する方法を学んでいこう。さらに、本物のニュースがどうやって作られるのを見ていくよ。それを知れば、ニセモノとのち

がいがわかるようになる。それから、スピードも大切。インターネットで見たものについて、何時間もかけて調べるなんてイヤだからね。ニセモノを早く見分けられるようになれば、シェアするのも止められて、いいことづくしだ。



フェイクニュースとは？

フェイクニュースって具体的にはどんなものだろう。多くの場合は、うそをふくんだ動画や記事、画像のことを指す。（これ以外については4章で説明する。）ただ単にだれかにとって不都合なニュースのことではない。

例えば、サムという子が社会のテストでひどい点数を取ったとする。新聞に「サムの社会の成績は1 夏休みに補習が必要」と書いてあったら、サムはいやな気持ちになるだろう。でもこれはフェイクニュースではない。なぜなら本当のことだから。サムにとっては知られたくないニュースだけれど、だからといって、事実であるかぎりフェイクニュースとはいえないんだ。

フェイクニュースを見分けるのに重要なのは**クリティカルシンキング**の力。それは、立ち止まってじっくり考えること。見聞きしたことをそのまま信じないで、**疑問を持つ**こと。

フェイクニュースはすぐにはなくなる。だけど、どういうものかわかれば、見ぬけるようになる。そして、ひろがるのを止めることもできるんだ。



第5章

フェイクニュース捜査官になる



フェイクを見ぬくには、まず疑ってみる。そして、さらに深く疑ってみる。ものごとをそのまま受け取らず、疑問をぶつけてみるんだ。

2016年にアメリカのスタンフォード大学で、若者が本物のニュースとフェイクニュースを見分けられるかという研究が行われた。結果はあまりよくなかった。

大人でさえだまされるのだから当然の結果だ。でも、大人が子どもよりも得意なことが一つある。それは疑うこと。(大人の方が生きてきた時間が長いから、より多くの経験を積んでいる。過去にだまされたことがある人もいる。だから、何に気を付けるべきかを知っているんだ。) インターネット上の情報の信頼性を判断するには、疑う力が最も役に立つと、研究にかかわったサム・ワインバーグ教授は言っている。

研究によると、年齢が低い人のほうがインターネット上の情報を信じやすい。信頼できるとわかっている発行元の情報ならそれでも問題ない。でも、よく知らないところの記事や投稿を読んでいるときは、ちょっと疑ってみることが大事だよ。

センセーショナルな見出しに注意

感情を強く刺激する、あおる(=センセーショナル)ような見出しには特に注意が必要だよ。クリックする前に、立ち止まってよく考えてね。



そんなのやだ! :
男子が猫を飼うのを政府が禁止



そんないい話あり? :
チョコレートは野菜より体にいい



おそろしい... :
**南極大陸が沈没中
4月には完全に水没**



ぞっとする :
**夏にぴったり
ナメクジのねばねば
アイスクリーム!**



わたしって天才!?! :
**子どもは何でも
大人よりうまい
最新研究で判明**

ばかげてない? :
**セントラルパークで
ユニコーンを発見**



これはひどい :
**男が赤ちゃんから
キャンディーを横取り**

不安になったりこわくなったりする見出しが、すべてフェイクニュースなわけではない。でも、少しでも「何かヘン」と感じたら、立ち止まって、本当かどうかを調べてみることだよ。

おわりに

クリティカルシンキングの力をつけよう

ここまで学んできた、メディア（媒体）が発信する情報を読み解く力（＝メディアリテラシー）に有効なのが、クリティカルシンキングだ。

1. まずは疑ってみる。すぐに信じない。
2. 何かおかしいところはないかを考える。
3. 記事を読んで、感情を揺さぶられた？
4. ほかのメディアも報じている？
5. ニュースソース（発行元、情報源）を調べる。
投稿したのはだれ？ どんな人が知ってる？
6. 記者、カメラマン、証言者などについて調べる。実在の人？
7. ほかの人がどう言っているか調べる。
8. 記事にある写真で画像検索をする。写真が加工されていない？
9. 日付を調べる。古すぎない？

子どもたちに大人気
スペースブロック
大きい！ 長持ち！ よごれにくい！
捨てる、取る、落とす。
遊び方はいろいろ！
今なら
1999円
スペースブロック2も近日発売

ニュース速報
流出した石油の除去作業が進行中

ラクサーミキサー
オールスターバスケットボール
スーパースターに君もなれる
スーパー・スティッキー
トーストに塗るとサイコー！

ニュース速報
大通りにゾウ現る

フェイクニュースを見つけたら

フェイクニュースを見つけたら、クリック、いいね、シェアをしない。明らかにうそやニセモノで特に害がないものなら、無視するのが一番。ウェブサイトによっては、ブロックやミュートという機能を使って、特定の人の投稿を表示しないようにできる。もし、フェイクニュースによってだれかが危ない目にあいそうだと感じたら、信頼できる大人や機関に相談しよう。そうすれば、通報して、投稿者を調べたり、投稿を削除させたりもできる。多くのSNSには、危険な投稿や悪意のある投稿を利用者が通報できる機能がある。